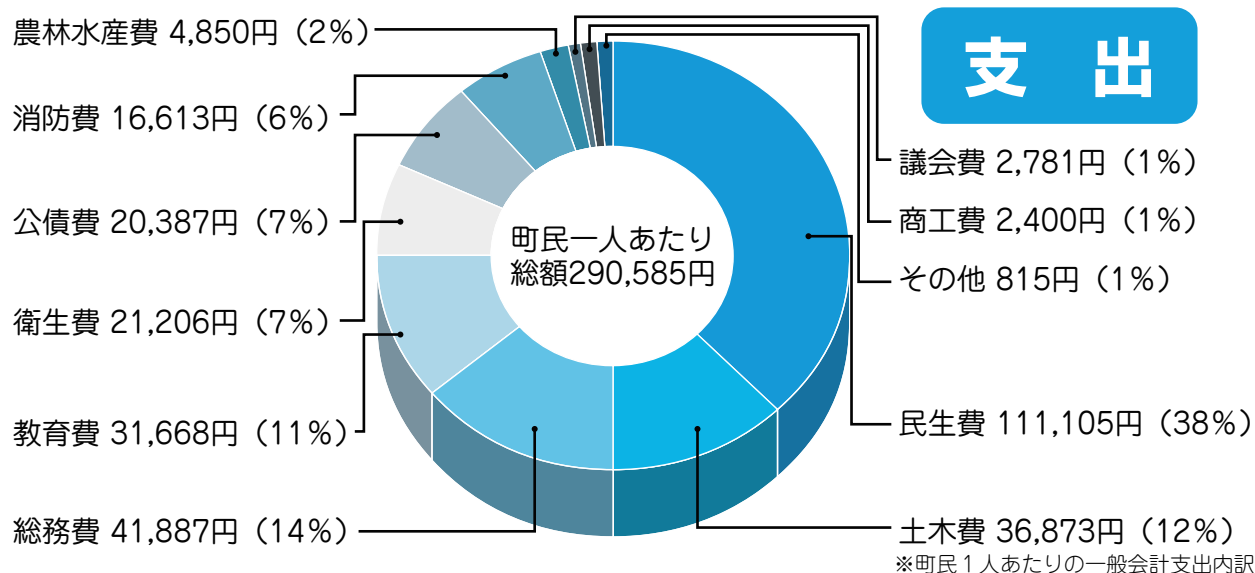


約2億円の予算計上



3月定例会は、3月2日から17日までの16日間の会期で開催され、10議員が一般質問を行った。
議案は一般会計予算をはじめ5つの特別会計予算と水道事業会計予算など27件。その他、報告2件、同意2件、承認1件を慎重に審議した。

新庁舎建設基金積立金

Q 新庁舎の建設は、いつごろを予定しているのか。

A の購入とあるが、これはガソリン車なのか、または電気自動車なのか。また、今後において、電気自動車の購入についてどのように考えているのか伺う。

A どの時期にどの規模ということとは明確に決まっていない。
鉄筋コンクリート造の耐用年数が60年であることから、平成39年あたりを1つのめどに考えている。

A 電気自動車ではなく、費用対効果等を考えた中で、排出ガス規制をクリアした実用車を購入する。

建設規模を1万2千㎡ほどとすると、建設費は48億円かかる。
2億円ペースで平成39年まで積み立てると、建設基金は約27億円となる。

他市町では、自動車関連企業の製品のPRを兼ねて電気自動車を購入している例があるが、本町においては、まだ購入の予定はない。

公用車購入

Q 小型貨物自動車1台および軽貨物自動車1台

Q 50人分の予算算定であるが、最近、高齢者による交通事故が多発している中で、本町としての

高齢者運転免許証自主返納支援事業

A 耐震化することにより、15年はずっと考えている。

Q 石浜老人憩いの家の耐震改修工事を行うことによって、建物は何年もつのか。

石浜老人憩の家

A 昨今の、高齢者の交通事故の減少を図るために事業を開始する。
また、半田警察署管内の状況等を勘案した中で、対象者を50人相当と予定した。希望者が多ければ、対象者の拡大を図る予定である。

考えを伺う。

28年度予算 一般会計 145億9200万円

新庁舎建設基金積立金

町債（借金）
12,345円（4%）

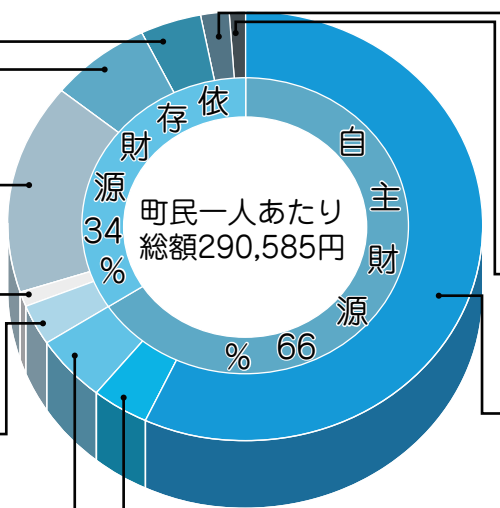
地方消費税交付金等
20,651円（7%）

国庫支出金・県支出金
47,201円（16%）

分担金および負担金
175円（1%）

使用料および手数料
7,467円（3%）

諸収入等
15,260円（5%）



収入

地方交付税 7,169円（2%）

地方譲与税 2,688円（1%）

町税 164,344円（57%）

繰入金・繰越金
13,285円（4%）

※町民1人あたりの一般会計収入内訳

図書館で居場所づくり事業

22万7千円の予算内訳について伺う。

図書館の和室は、外から見ると密閉された空間であり、開放しても中の状況がわからないと困るため、防犯カメラを設置する。

骨髄移植ドナー支援補助金

1人当たりの限度額が14万円で、計算上2人分となるが、2人とした理由は。

本町と同等の人口規模の自治体における実際の提供者等を確認した中で、2人と設定した。

トイレ改修工事

文化センターおよび生路コミュニティセンターのトイレの改修工事について、工期はどのくらいかかるのか。

文化センター、生路コミュニティセンター共に工期は約4カ月を予定している。

また、他のコミュニティセンターについては、建築年数の古いものから順次改修を進めていく。

教職員のストレスチェック

教職員のストレスチェックは、どのような形で進めるのか。

ペーパーテストを行い、点数付けをし、点数が高い者を高ストレス者として判断する。高ストレス者については、学校を通じて産業医

防災スペシャリスト養成講座

特別旅費37万9千円は、何人分の費用か。また、養成講座の受講後、その職員をどのように活用するのか。

1人分の費用で、対象者は27年度に採用した防災専門員を予定している。

目的としては、台風、豪雨等の風水害や将来的に発生が懸念されている南海トラフ地震の災害に対応するためであり、今後の防災対応に活躍していただく予定である。

